

## 平成30年度第2回大阪府立少年自然の家指定管理者評価委員会会議概要

〇 日 時：平成31年1月15日（火） 13：30～14：00

〇 場 所：大阪赤十字会館 402会議室

〇 委員出席：4名（岡田委員長、植木委員、小山委員、西川委員）

〇 議 事（質疑要旨）

大阪府立少年自然の家 平成30年度指定管理者の業務状況の評価について

◆事務局から平成30年度指定管理業務評価票案について説明

<質疑応答>

委員：宿直は、月によってばらつきがあるが、勤務状況に記載されている宿直以外、他にも宿直している人がいるのか？また、宿直の手当はどうなっているのか？

事務局：記載している宿直の他に、宿直専門職員が3名おり、繁忙期に対応している。また、手当については、宿直手当のほか、宿直中の対応があれば、その時間分を支払っている。

委員：対応時間が、ずっと生じるものであるのであれば、実態に応じて宿直手当を見直す必要があると考えるが、如何か？

事務局：急病など、宿直時間中に対応することは非常に少ない。年に数回しか生じない。

委員：昨年5月に学校で少年自然の家を利用した。施設の登山道入り口には、断層があり、教材として大変有効であるのだが、メンテナンスが雑になっており、断層を見ることができなかった。子どもたちにわかりやすく掲示するなど、活用するとよいのではないか。

事務局：確認の上、整備することとする。

委員：府民対象なのに、どうして「少年」の家とあるので、「少年」と聞くと、どうしても見る人によっては、小・中学生等子ども対象かと思いがち。

事務局：元々の設置目的が、自然体験をし、少年の健全な育成を図るというものなので、そのような名称になっている。

委員：外国人利用者はいるのか？

事務局：沢山はいないが、この1月や2月に中国や韓国の修学旅行利用者がいる。

これからインバウンドに力を入れていこうと考えている。

日本の学校との協力やお茶や餅つき等の日本の文化にも触れる体験ができるよう計画を進めているところ。

委員：「元気アップシニア健康合宿」は人数が集まらなかったのか？

事務局：2泊3日にしたもので、広報はしたものの2名しか集まらず開催に至らなかった。

他にもシニア事業をやっているが、「大人の遠足」は人気なのに、

「シニア」と書くとなかなか人が集まらない。次年度からは名前も内容も考えていこうと思う。

委員：元気なシニアの方が多いため、ターゲットになると考える。

委員：年齢に応じたネーミングをつけることができると良いかもしれない。

委員：指定管理期間10年なので、試行錯誤しながら利用促進に取り組んでもらいたい。